

JRこの夏は・・・ おんせん県おおいたに JRグループ 来ちょくれ～!



～はじめに～

私の出身は九州の大分県です。今年の7月1日～9月30日まで大分県では「おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン(DC)」という観光キャンペーンが開催されます。

デスティネーションキャンペーン(DC)とは、年4回JRグループ6社と各自治体が連携し全国から観光客を呼び寄せる一大キャンペーンであります。

今回のおんせん県おおいたDCでは『いやします。ひやします。おんせん県おおいた』をキャッチフレーズとして大分の温泉・観光地・食をPRしています。

ということで今回は私の地元大分県を紹介します。この夏休み、部活サークルの合宿先や友だちとの旅行先としてぜひ九州・大分を選んでいただければ嬉しい限りです。

後半は私の趣味の一つである鉄道から九州の様々な観光列車を紹介します。九州ではバリエーション豊富な観光列車が九州各地で走っています。観光列車でめぐる九州の旅というのもいかがですか？

～大分県の基本データ～

人口 1,164,846人(H27)

(参考) 神戸市 1,533,604人 スワジランド 111万人

GDP 47,388億円(H24)

(参考) 神戸市 65,857億円 ガーナ 46,380億円

全国1位

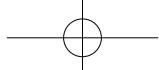
椎茸生産量 地熱発電量 温泉源泉数 道路トンネル数など



～大分へのアクセス～

「どこか旅行したい、でも移動は安く済みたい」と思っている大学生は少なくないはずです。実際長距離移動で夜行バスを選ぶ方も多いはずです。しかし私はあえて鉄道での移動をお勧めします。鉄道を利用して移動の段階から快適な旅行をしてもらいたいと思います。





～大分へ向かう列車紹介～

N700A



新幹線のぞみ

東海道・山陽新幹線で現在主力となっている車両。最高速度は300km/h。新大阪博多間を2時間半で結ぶ。現在はブレーキ性能が改良されたN700A(Advanced)が順次投入されており、災害時に迅速に停止できるようになっている。

KYUSHU WEST JAPAN



新幹線みずほ・さくら

「みずほ」「さくら」として運行されている。8両編成で車内は九州のイメージに合わせた作りとなっている。新大阪～鹿児島中央を最速3時間42分で結ぶ。「みずほ」「さくら」という愛称はかつて東京と熊本・長崎を結んでいた寝台特急ブルートレインの愛称で使われていた。

SONIC



特急ソニック

左883系右885系
博多～大分間を約2時間で結ぶ特急列車。883系は「青いソニック」と呼ばれ車体全体がメタリックブルーで統一されている。885系は「白いソニック」と呼ばれ親しまれている。車体は振り子式を採用しており、カーブなどでもスピードを落とさずに運行ができる。



観光特急ゆふいんの森（D&S列車）

博多～由布院～大分・別府を結ぶ観光列車。1989年にデビュー。多くの観光客が利用しており、最近は外国人観光客の利用が多い。4両編成（今夏からは5両編成も導入予定）。車体はハイデッカー方式を採用。車内販売やサロンスペースも設けられている。車窓からは由布院の雄大な景色を堪能でき、ローカル色あふれる久大本線を走る。

～大分県の紹介～

〈温泉〉大分といえばやっぱり温泉。ここでは2大温泉、別府由布院を紹介します。



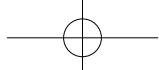
別府温泉

湧出量日本一である別府は別府八湯（別府・鉄輪（かんなわ）・浜脇・明礬（みょうばん）・観海寺・龜川・堀田・柴石）をはじめ、地獄めぐりといった有名観光地を持っており、毎年全国各地をはじめ国外から多くの観光客がやってきている。



由布院温泉

別府と並んで名高い温泉地が由布院温泉。左写真のように雄大で新緑の由布岳を眺めながら温泉に浸かる時間が至福の一時。昔の景観を残しつつ旅館や施設の整備が進んだ結果、数多くの調査で九州の行った温泉地第1位に選ばれている。



〈観光地〉 温泉だけでなく、大分には観光地も多く存在します。最近は大分市中心部の再開発が進み今後ますます来県者が増えることでしょう。



大分駅ビル

4月16日に開業した「JR おおいたシティ」。JR九州が手掛ける駅ビルとしては5番目となる。大分または九州初出店の店舗も入っており、また隣接するホテルの最上階には天然温泉もあり、大分の眺望が楽しめる。屋上には庭園と鉄道神社があり、JR九州の駅ビルの規模としては博多・鹿児島中央に次ぐ。



宇佐八幡宮

全国の八幡宮のトップである由緒正しき神社。日本史では奈良時代の769年に和氣清麻呂が道鏡の皇位継承を阻止した宇佐八幡宮信託事件で有名。主神は八幡大神（応神天皇）。参拝方法も「2礼2拍手1礼」ではなく「2礼4拍手1礼」を正式な作法としている。



うみたまご

別府湾のすぐそばにある水族館。2004年のリニューアルオープン後トドの腹筋ショーなどの多彩なイベントやPR効果が奏し大型連休になると多くの家族連れが来場する県内でも有数の観光スポット。

〈食〉 大分は豊後水道の新鮮な魚をはじめとてもおいしい食が集まる場所。郷土料理もとてもおいしいのでは是非大分に来たときには食べてほしいです。



とり天

鶏肉にから揚げ粉をまぶしてあげるから揚げと違って鶏肉にしっかりと味をつけて天ぷら粉で揚げる。ポン酢につけて食べるとおいしい。から揚げは中津宇佐が発祥であることもお忘れなく（笑）



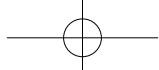
関あじ関さば

この名前はブランド名として東京の市場などでは高値で取引される。鮮度の落ちやすい魚であるが地元では刺身や寿司にして食べることもよくある。（筆者も食した経験あり）



りゅうきゅう

魚の切り身に醤油酒みりんの調味液にネギやゴマなどの薬味と一緒に加えて漬け込んだもの。これをそのまま食べてもよし。ご飯の上のつけてどんぶりにするのもよし。お茶漬けにして食べるもよし。個人的にはタイの切り身使ったりゅうきゅうが一番おいしい。



九州の列車たち

九州には多くの特別列車が存在する。特急の「特」は「特別に速い」ではなく、「特別な列車」と解釈されており、デザイン性あふれる列車が登場しています。今回は厳選した3つを紹介します。そのほかについては「JR KYUSHU TRAINS（下記URL）」から



ななつ星 in 九州

日本初の豪華クルーズトレイン。デザイナーは九州の多くの観光列車のデザインを手掛けてきた水戸岡銳治氏。車内は絢爛豪華なつくりとなっており、優雅な列車旅が楽しめる。阿蘇や湯布院に途中下車したら専用観光バス（このバスもななつ星デザイン）で観光する。料金は3泊4日コースの場合1人当たり48～130万円。それでも倍率20倍という応募がある。

詳しくは URL から



はやとの風

鹿児島中央～隼人～吉松を運行する観光特急。「はやと」の名は古代大隅半島を中心に活動していた隼人族から来ている。車両は一般型気動車キハ40系を改造。ボディーは漆黒色を採用しており肥薩線のレトロあふれるイメージとなっている。



A 列車で行こう

熊本～三角（みすみ）間を走る観光特急。車両デザインは「16世紀の天草に伝わった南蛮文化」をテーマにしている。2両編成で1両目には「A-TRAIN BAR」というカウンターバーが設けられハイボール片手に「おとなの旅」を楽しむことができる。

～リンク集～

- ・おおいた DC 公式 HP <http://www.onsenkenoita-dc.jp/>
- ・JR 九州 <http://www.jrkyushu.co.jp/index.jsp>
- ・JR 九州（大分支社） <http://www.jrkyushu.co.jp/ooita/index.html>
- ・JR KYUSHU TRAINS <http://www.jrkyushu.co.jp/trains/>
- ・ななつ星 in 九州 <http://www.cruisetrain-sevenstars.jp/>

～さいごに～

九州・大分について紹介してきましたがいかがでしたか？まだまだ紹介したいことはたくさんあります、とりあえずここまで（笑）6月からは駅のパンフレットコーナーやポスター、またホームページでさらに詳しく紹介されているので詳しくはそちらまで！！

この夏はおんせん県おおいたに来ちょくれ～！！

※記事中に掲載されている画像は Wikipedia、JR 九州 HP、Yahoo! 画像から引用しました。